

発行 日光市役所産業環境部環境課  
 〒321-1292  
 今市本町1番地(本庁第4庁舎1階)  
 TEL 21-5152 FAX 21-5128  
 Eメール kankyou@city.nikko.lg.jp



奥日光清流清湖フォトコンテスト2014  
 ジュニアの部「会長賞」『虹の朝』 越智 優心

10周年記念企画  
**ラムサール条約登録湿地「奥日光の湿原」**  
 第2回

第24号では、ラムサール条約登録湿地全般のご紹介をしました。今回は、11月8日にラムサール条約登録10周年を迎える湯ノ湖・湯川・戦場ヶ原・小田代原の「奥日光の湿原」についてご紹介します。



位置：北緯36度47分 東経139度26分  
 標高：湯ノ湖 1,475m 戦場ヶ原 1,400m 小田代原 1,410m  
 面積：湯ノ湖 35.71ha 戦場ヶ原 174.68ha 湯川 5.3ha 小田代原 44.72ha

奥日光の湿原とは  
 ラムサール条約登録湿地に登録されている「奥日光の湿原」は、全域が日光国立公園に指定されており、自然公園法によって保全が図られています。面積は、260.41ヘクタールで、条約の湿地区域は、火山の噴火でせき止められてきた湯ノ湖（ゆのこ）と、そこから流れ出す湯川（ゆかわ）、流域の戦場ヶ原（せんじょうがはら）と小田代原（おだしろがはら）の2つの湿原で構成されています。

お問い合わせ先  
 環境課 TEL(21)5152

平成27年 夏の「うちエコ」コンテスト開催

市では、「うちエコ」コンテストを実施して、家庭での節電対策を応援しています。楽しく、我慢せず、無理しないをモットーに、夏の節電にご協力をお願いします。

【節電をお願いする期間】 7月1日(水)～9月30日(水)の平日  
 午前9時～午後8時(8月13日から8月16日を除きます。)

- 1 節電の取組期間**  
 平成27年7月1日から9月30日までの間、普段の生活の中で無理のない範囲での節電をお願いします。特に午後1時から午後4時に協力ください。
- 2 対象者**  
 日光市民(家族・世帯単位)  
 ただし、平成26年6月以降に市の太陽光発電補助金を受けた方は対象外となります。
- 3 賞品**  
 平成27年8月分の節電実績により、各部門の上位30人の方に、市の地場産品等の賞品を贈呈します。賞品はいずれか一部門とさせていただきます。
- 4 削減部門**  
 昨年と比較した電気使用量の減少率  
**エコライフ部門**  
 一人一日あたりの電気使用量
- 5 応募締め切り**  
 平成27年10月30日(金)

平成27年夏の「うちエコ」コンテスト応募用紙 [平成27年10月30日(金)当日消印有効]

のりしろ

平成27年8月分であるか確認してください

27年8月分 使用量 310kWh	契約種別 従量電灯B 契約 30A
昨年の電気使用量が記載されています	0310 0000 0000 310

電気料金等徴収票(口座振替用)

27年7月分 徴収金額 6,327円	ご請求期間 6/1 26 - 7/1 1日
00000-00000-1-00	00000-00000-1-00

○応募に関する注意事項

- ・応募に係る個人情報は、応募者への「うちエコ」コンテストに関する事項の通知及び応募事例に関する問い合わせに限り使用し、他の目的で使用することはありません。
- ・家族の人数が大幅に減ったなど、電気使用量の削減の大部分が省エネ以外の要因によると判断される場合には、評価の対象外となる場合があります。
- ・応募内容は公表を前提として取り扱います。
- ・応募された資料(応募用紙や検計票等)は返却しません。
- ・応募内容の発表に係る著作権は、全て日光市に帰属するものとしてします。
- ・応募にあたり、虚偽の記載などがあった場合は失格となります。

⚠平成26年6月以降に市の太陽光発電補助金を受けた方は応募できません

●代表者氏名	●住所
●電話番号	●家族構成 人【大人(中学生以上) 人、子ども 人】
●特に取り組んだこと、取り組んで効果があったと思ったことを記入してください。	

お問い合わせ先 環境課 TEL(21)5152



## 奥日光の湿原

### ○湯ノ湖

三ッ岳の噴火によってできたせき止め湖です。水深は最大でも14.5mと浅く、北岸は温泉湧出のため冬でも水温が温かく、冬はマガモ、ヒドリガモなどの水鳥が飛来します。

奥日光清流清湖フォトコンテスト2013 入賞作品 中内 謙治「初夏の湯ノ湖」

### ○湯川

湯ノ湖の水が湯滝となって流れ落ち戦場ヶ原を経由して、中禅寺湖へと注ぐ川です。全長は11.2kmと短い川ですが、ゆったりと流れる独特の景観は本州でも貴重なものです。登録区域は流域すべてではなく、湯滝から戦場ヶ原横までの区間です。

奥日光清流清湖フォトコンテスト2014 入賞作品 伊勢村 清「湯川の流れ」

### ○戦場ヶ原

男体山の噴火によって川がせき止められてできた湿原です。ミズゴケが厚く積もった高層湿原、水がたまり栄養分に富んでいる低層湿原、その中間の中間湿原が存在し、ワタスゲ、レンゲツツジ、ホザキシモツケなど、多くの湿原性の植物が生育しています。

日光フォトコンテスト入賞作品 初谷 龍「虹の戦場ヶ原」

### ○小田代原

戦場ヶ原の隣にあり、湯川の西側に広がる周囲2kmの草原です。乾燥化が進み、湿原から草原に移行する段階といわれています。アヤマ、ハナショウブ、ノアザミなどの多くの植物が生育しています。

日光フォトコンテスト入賞作品 藤村 香代子「冬の足音」



## にっこう夏の“うちエコ”コンテストのご案内

夏の節電メニュー ~昨年「うちエコ」に参加した方の主な取組み~ 応募内容は4ページです。

### ○機器の使用方法の見直し

- ・冷蔵庫の開け閉め回数を減らした。
- ・リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切った。

### ○ライフスタイルの見直し

- ・午前中は扇風機を使用し、午後からエアコンの使用とした。
- ・「すだれ」「よしず」などで、窓からの日差しをやわらげた。
- ・お風呂の保温を切って続けて入浴した。

### ○家族で心がけること

- ・無理のない範囲でエアコンを使用する部屋を決めた。
- ・使用していない部屋の電気を消した。
- ・テレビ、ビデオを使用する時間を決めた。

◎日中、ご在宅でないご家庭は、待機電力による節電をお願いします。



# 循環型社会の実現に向けて ごみの減量化にご協力を！

## 日光市のごみ事情

皆さんは日光市の一人一日当たりのごみ排出量が県内で何位か知っていますか？栃木県の統計によると日光市は平成25年度で1,189グラムとワースト1位なのです。

県平均の940グラムと比べると一人一日当たり249グラムも多くごみを排出していることとなります。これには、観光客が出すごみの量も含まれているので一概にはいえませんが、それでも日光市のごみの減量化は重要な課題であることは間違いありません。ごみの減量化は行政だけでは実現することができません。市民の皆さん一人一人のご協力が必要です。

【平成25年度】

1人1日当たりのごみ排出量 (g/人日)

日光市	1,189g
県平均	940g
全国平均	958g

## 家庭ごみの半分は「生ごみ」です

生ごみは、一般的に家庭ごみの約半分を占めるといわれています。食べ残しのないように調理したり、野菜くずを捨てずに調理するなど、工夫次第で生ごみの発生を抑えられます。生ごみは日々の生活の中で発生するものだからこそ、一人一人が出す量を減らすことで、市全体での大きな減量になります。

## 生ごみは水分を切りましょう

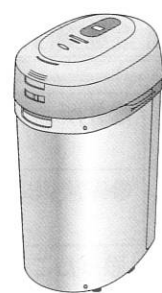
家庭から出る生ごみのうち、約半分が水分といわれています。水分を切ることで臭いやカビ、虫の発生の防止にもつながります。また、水分が多いと焼却するときの効率が悪く、多くの費用と時間がかかってしまいます。毎日の生活を快適にし、ごみ処理効率をあげるためにも、生ごみは水分をよく切って出しましょう。

## 生ごみ処理機器設置費補助金

生ごみ処理機器を利用すると、乾燥させて量や重さを減らしたり、生ごみを堆肥にしたりすることができ、ごみを大幅に減量することができます。市では、ごみの減量化を進めるために、家庭用の機械式処理機器やコンポスト容器の購入・設置費用の助成制度を設けています。

### ◎機械式処理機器

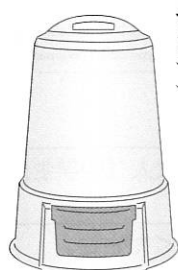
購入費の2分の1 (限度額3万円)



機械式(イメージ)

### ◎コンポスト容器

購入費の2分の1 (限度額3千円、2台まで)



コンポスト(イメージ)

※助成希望の方は、必ず購入する前に廃棄物対策課へ申請してください。購入後のものは助成対象になりませんのでご注意ください。

お問い合わせ先 廃棄物対策課 TEL(21)5138

お問い合わせ先 環境課 TEL(21)5152